

Cisco IOSソフトウェア プロトコル変換脆弱性

High アドバイザリーID : cisco-sa-[CVE-2013-2013-1147](#)
20130327-pt
初公開日 : 2013-03-27 16:00
最終更新日 : 2013-04-11 15:23
バージョン 1.1 : Final
CVSSスコア : [7.8](#)
回避策 : [Yes](#)
Cisco バグ ID : [CSCtz35999](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco IOSソフトウェア Protocol Translation (PT) 機能により非認証を可能にする可能性があるサービス拒否 (DoS) 状態を引き起こすために脆弱性がリモート攻撃者含まれています。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェア アップデートをリリースしました。この脆弱性を軽減する回避策は利用できます。

このアドバイザリーは、次のリンクより確認できます。

<http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20130327-pt>

注 : 2013 年 3月 27 日、Cisco IOSソフトウェア Security Advisory によって組み込まれる書は 7 Cisco Security Advisory が含まれています。すべてのアドバイザリーは Cisco IOSソフトウェアの脆弱性に対処します。各 Cisco IOSソフトウェア Security Advisory は正しい行進 2013 のすべての Cisco IOSソフトウェア脆弱性はパブリケーションを組み込んだことアドバイザリー、また Cisco IOS ソフトウェア リリースで詳述される脆弱性を解決する Cisco IOS ソフトウェア リリースをリストします。

"Cisco Event Response: 半年ごと Cisco IOSソフトウェア Security Advisory は次のリンクのパブリケーションを」組み込みました:

http://www.cisco.com/web/about/security/intelligence/Cisco_ERP_mar13.html

該当製品

修正済みソフトウェア

脆弱なプロトコル変換設定はワン・ステッププロトコル変換が設定される発生し、デフォルト着信接続ポート番号(23) Telnetポートをとき使用しています。ワン・ステッププロトコル変換着信接続ポート番号がデフォルト以外あらゆるポートのために設定される場合、デバイスは脆弱ではないです。

脆弱なプロトコル変換設定、ログインをデバイスに識別し、**show translate** Command Line Interface (CLI) コマンドを発行するため。次の例はデフォルト着信接続ポート番号のために設定される少なくとも1つの着信TCP/IPプロトコル変換接続でプロトコル変換のために設定されるデバイスを示したものです。出力がリストされているポート23がある変換エントリが含まれなければデバイスは脆弱ではないです。脆弱な設定のデバイスを以下に示したものです:

```
Terminal_Server#show translate
```

```
Translate From: TCP 192.168.0.1 Port 23
```

```
To: X25 1234
```

```
0/0 users active, 0 peak, 0 total, 0 failures Translate From: TCP 192.168.100.25 Port
```

```
1025
```

```
To: X25 1235
```

```
0/0 users active, 0 peak, 0 total, 0 failures
```

```
Terminal_Server#以下は非脆弱な設定のデバイスを示します:
```

```
Terminal_Server#show translate
```

```
Translate From: TCP 192.168.0.1 Port 23
```

```
To: X25 1234
```

```
0/0 users active, 0 peak, 0 total, 0 failures Translate From: TCP 192.168.100.25 Port
```

```
1025
```

```
To: X25 1235
```

```
0/0 users active, 0 peak, 0 total, 0 failures
```

Terminal_Server#, ログイン TELNET にパッドプロトコル変換 ruleset が設定されるかどうかデバイスに判別し、**show running-config** CLI コマンドを発行するため。出力が設定コマンドが含まれていたなら使用 **telnet <IP アドレス>** を変換し、**pad** コマンドに **telnet** の定義された ruleset を、デバイスです脆弱持っています。次の例は設定される脆弱な TELNET にパッドプロトコル変換 ruleset を示したものです:

```
Terminal_Server#show running-config | begin use telnet
```

```
translate use telnet 192.168.0.1
```

```
translate ruleset example_ruleset from telnet to pad
```

```
description *** example translation ruleset ***
```

```
match source-addr 192.168.100.1
```

```
set pad dest-addr 4321 <rest of output removed for brevity>
```

```
Terminal_Server#
```

Cisco 製品で稼働している Cisco IOS ソフトウェア リリースを確認するには、機器にログインし **show version** コマンドを実行してシステムバナーを表示させます。"Internetwork Operating System Software"、"Cisco IOS Software" あるいはこれらに類似するシステムバナーによってデバイスで Cisco IOS ソフトウェアが稼働していることを確認できます。その後ろにイメージ名が括弧の間に表示され、続いて "Version" と Cisco IOS ソフトウェア リリース名が表示されます。他の Cisco 機器では、**show version** コマンドがない場合や、表示が異なる場合があります。

次の例は C3900-UNIVERSALK9-M のインストール済みイメージ名前と Cisco IOS ソフトウェア リリース 15.0(1)M1 を実行している Cisco製品を指定したものです:

```
Router> show version
Cisco IOS Software, C3900 Software (C3900-UNIVERSALK9-M), Version 15.0(1)M1, RELEASE SOFTWARE (fc1)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2009 by Cisco Systems, Inc.
Compiled Wed 02-Dec-09 17:17 by prod_rel_teamRouter> show version
Cisco IOS Software, C3900 Software (C3900-UNIVERSALK9-M), Version 15.0(1)M1, RELEASE SOFTWARE (fc1)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2009 by Cisco Systems, Inc.
Compiled Wed 02-Dec-09 17:17 by prod_rel_team
```

Cisco IOS ソフトウェアのリリース命名規則の追加情報は以下のリンクの "White Paper: <http://www.cisco.com/web/about/security/intelligence/ios-ref.html> の Cisco IOS および NX-OS ソフトウェア レファレンスガイド」。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

以下の製品はずっと確認された脆弱です:

- Cisco IOS XE ソフトウェア
- Cisco IOS XR ソフトウェア
- Cisco NX-OS ソフトウェア

他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.1	2013-April-11	バンドル最初固定カラムの 15.0EY のための更新されたデータ。
リビジョン 1.0	2013-March-27	Initial public release.

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。